

科目名 (英語表記)	建築設計演習 (Architectural Design Exercises)						ポートフォリオ	
学年・学科	専攻科建築学専攻・1年	単位・期間	I群 4単位, 通年週6時間(合計180時間) (自己学習時間: 90時間)				<学生が記入する上での注意事項>	
担当教員	杉本弘文・中村孝至	連絡先	建築学科棟 3階第9研究室(中村), 同 2階第1研究室(杉本)	オフィスア ワ ー	月曜 16:20~		【授業計画の説明】 枠内に○か×かを記入すること。	
【授業目的】	設計テーマに基づき、情報収集と整理・事例研究等をおこない、設計条件の解釈や構想について議論しながら集約し完成させる。						【理解の度合】(記入例)ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。	
【履修上の注意】	1) 十分な諸状況の現状把握を行うこと。 2) 1)で把握した内容を分析し、設計目標を立てること。 3) 高度なデザイン手法およびプレゼンテーション技法を研究すること。						【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。(記入例)ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。	
【事前に行う準備学習や自己学習】	与えられたテーマに基づき、フィールドワーク、資料収集など自己学習が重要である。設計課題のテーマに関する資料を事前に収集・整理しておくこと。プレゼンテーション能力を高めるための自己学習(過去のコンペティションを研究すること。)が必要。						【総合達成度】では、【達成目標】どおりに目標を達成することができたかどうか、記入してください。ルーブリック評価の【自己評価】では、到達したレベルに○をすること。	
【達成目標】	1) 社会状況や、今日的なデザインの状況を読み取る能力を身に着けること。 2) 設計の目標に従い、具体的な”かたち”にできる能力を身に着けること。 3) 高度なプレゼンテーション能力を身に着けること。						<教員が記入する上での注意事項> 教員は、◎が付いているところだけを記入すること。	
<b>学 習 到 達 目 標</b>								
ルーブリック評価	理想的な到達レベルの目安 (A)	標準的な到達レベルの目安 (B)	未到達レベルの目安 (C)				ルーブリック評価とは設定された到達目標の合否および到達レベル(到達度の程度)を示す基準です。	
評価到達目標項目1	(B)・(C)を前提とし、調査した設計条件をもととした、社会的に価値のある独創的な提案が盛り込まれている。	計画・設計に必要な情報収集が適切に行われ、問題点を発見し、解決策を考察できていること。	目標とする建築空間を計画・設計するにあたり、どのような設計条件を調査する必要があるかを知っている。				【自己評価】 A ・ B ・ C	
評価到達目標項目2	(B)・(C)を前提とし、意匠的な手法が研究され、求められている生活空間に相応しい手法が試みられていること。	基本的な計画・設計方法の十分な理解をもとに、求められている建築空間が合理的にまとめられる。	求められている建築空間の機能、動線など基本的な計画の知識を知っている。				【自己評価】 A ・ B ・ C	
評価到達目標項目3	(B)・(C)を前提とし、プレゼンテーションの様々な技巧を研究し、また完成度が高いこと。	(C)を前提とし、各自の設計コンセプトを他者を理解させる構成・内容となるよう工夫がなされていること。	設計図書としての図面を作成するに当たり、製図および各種図面の規則・書式を知っている。				【自己評価】 A ・ B ・ C	
							【自己評価】 A ・ B ・ C	
<b>到 達 度 評 価 (%)</b>								
評価方法	定期試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品実技	その他	合計	成績の評価方法について
総合評価割合					100		100	・成果品で評価する。
知識の基本的な理解					40		40	評価基準について ・学年末成績60点以上を合格とする。
思考・推論・創造への適応力					40		40	
汎用的技能								
態度・志向性(人間力)								
総合的な学習経験と創造的思考力					20		20	
【教科書】	なし							
【参考資料】	a+u, 建築文化, 新建築などの雑誌							
【学習・教育目標・サブ目標との対応】(低学年)					【JABEE基準との対応】 (c)(d)(g)(h)			
【学習・教育到達目標との対応】(高学年・専攻科)	(A)(B)(D)							

【授業内容】			【授業計画の説明】(実施状況の記入)
授 業 要 目	内 容	時 間	
授業計画の説明	授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明	1	
<b>1. 第1課題:コンペもしくは設定課題の設計</b>	課題説明	1	【理解の度合】(◎教員は授業の実施状況を記入)
(1)課題分析と設計方針の決定	・課題のテーマや与条件を検討,スケジュールを決定. ・テーマ研究.必要な資料を収集	4 6	
(2)基本計画	・企画書の作成 ・企画書に基づき、基本計画を行う。 グループで議論し、模型などを作成し検討を重ねる。	6 6	
(3)基本設計	基本計画に基づき設計を行う。レイアウト計画。	4	
	配置図・平面図作成	8	
	断面図・立面図作成	6	
	必要な図・表・文章の作成。	6	
(4)プレゼンテーション作成	プレゼンテーションの方針を決定する。	6	
	プレゼンテーション図面の下書き。	6	
	プレゼンテーション図面の完成	6	
	プレゼンテーション模型作成。	6	
(5)発表会・講評	パワーポイントデータなどプレゼンテーション準備	6	
前期末試験			【試験の結果】試験の点数( )
(6)講評	発表・講評。ポートフォリオの記入。データ整理・提出。	4	【理解の度合】(◎教員は授業の実施状況を記入)
<b>2. 第2課題:設計競技に基づく設計</b>	課題説明,テーマとする設計競技を選択する。	4	
(1)課題分析と設計方針の決定	・課題のテーマや与条件を検討,スケジュールを決定. ・テーマ研究.必要な資料を収集	2 4	
(2)基本計画	・企画書の作成 ・企画書に基づき、基本計画を行う。	2 6	
(3)基本設計	配置図・平面図作成	6	
	断面図・立面図作成	4	
(4)プレゼンテーション作成	プレゼンテーションの方針を決定する。 プレゼンテーション模型、図面を作成。	4 4	
(5)発表会・講評	パワーポイントなどを使用し発表する。	4	
(6)講評	ポートフォリオの記入。データ整理・提出。	2	
<b>3. 第3課題:地域計画</b>	・課題説明,テーマ設定を各自で考える。	2	
(1)課題分析と設計方針の決定	・対象地域の候補を挙げる。 ・現地調査(予備調査)	4 4	
	・決定したテーマに基づきスケジュールを決定。	2	【試験の結果】試験の点数( )
(2)資料収集	・テーマ研究.必要な資料を収集.	4	
(3)基本設計	・企画書の作成 ・企画書に基づき現地調査・資料収取の方針の立案。	2 6	【理解の度合】(◎教員は授業の実施状況を記入)
(4)調査	現地調査	6	
	資料収集	6	
(5)分析・考察	データ分析及び考察	4	
(6)プレゼンテーションの準備	プレゼンテーション図面(模型)を作成。	4	
学年末試験		2	
(7)発表会・講評			
	ポートフォリオの記入。データ整理・提出。	4	
			【試験の結果】試験の点数( )
	合計時間	180	【総合達成度】総合評価の点数( )
【備考】			【評価の実施状況】(◎教員は総合評価を出した後に記入する。)